

大山山麓・日野川流域魅力向上補助金事業

一雲斎秀春講演会実施要項

1 ねらい

古代に安綱、真守が活躍した鳥取県は戦国、近世、近代、現代と刀鍛冶の系譜をつないで来ました。多くの刀工がその時代の要求に応じてそれぞれ特徴ある刀を作り、その作品は博物館美術館のほか、今でも社寺をはじめ多くの個人宅で大切に保存されています。

今回は幕末明治初めに活躍し、とにかく「切れる刀」で有名な東伯郡琴浦町八橋出身の刀工、一雲斎秀春（藤本和一郎）に注目し、その作品・人物を学び、観光資源としての可能性を考えます。

2 主催 郷土の刀・刀工を学ぶ講座実行委員会

3 協力 大山山麓・日野川流域観光推進協議会

4 日時 令和6年2月18日（日） 午後2時から午後4時まで

5 会場 琴浦町生涯学習センター 「まなびタウンとうはく」4階 研修室 〒689-2303 鳥取県東伯郡琴浦町徳万 266-5 電話：0858-52-1111

6 内容 演題 郷土の刀工 藤本和一郎秀春の実像について 講師 大田 勝也さん（鳥取民俗懇話会会員）

7 定員 50人

8 参加費 200円（資料実費）

9 申込期限及び方法 令和6年2月15日（木）午後5時 申込先に電話で申し込む

10 参加申込先 郷土の刀・刀工を学ぶ講座実行委員会事務局 （倉吉市経済観光部観光交流課内） 電話 0858-22-8152 FAX0858-22-8136

刀 銘 一雲斎秀春、慶應二寅三月日
長さ：73.2cm、反り：1.6cm
刃文：互の目丁子

刀工一雲斎秀春の 謎を解明する

幕末明治初めに活躍し、抜群の切れ味で今なお人気が高い琴浦町八橋出身の刀工一雲斎秀春（藤本和一郎）の作品・人物にスポットをあて、刀工「尚春」との関係など、その生涯の謎を当時の資料をもとに解明します。

講演会

- とき **2/18日** 午後2時から午後4時まで
- ところ 琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」
〒689-2303 鳥取県東伯郡琴浦町徳万 266-5
電話：0858-52-1111
- 演題 「郷土の刀工 藤本和一郎秀春の実像について」
- 講師 大田 勝也さん（鳥取民俗懇話会会員）
- 定員 50人
- 参加費 200円（資料実費）
- 申込期限及び方法 2月15日（木）午後5時
申込先に電話で申し込んでください。

刀工を知るワークショップ

- ①一雲斎秀春 「秀春ゆかりの八橋をあるく」
 - とき **3/17日** 午後1時から午後3時まで
 - 集合 八橋地区公民館
〒689-2301 鳥取県東伯郡琴浦町八橋 239-13
TEL：0858-52-2564
- ②宮本包則 「皇室技芸員のふるさと 三朝」
 - とき **3/24日** 午前8時30分から正午まで
 - 集合 三朝町役場
〒682-0195 鳥取県東伯郡三朝町大瀬 999-2
TEL：0858-43-1111

ともに定員20人（事前予約必要）参加費／500円
※宮本包則のワークショップは、別に三徳山入山料400円が必要です。
※詳細はお問い合わせください。